

創業以来、南九州の酪農家たちの 夢と情熱を受け継ぎつつ さらなる可能性を求め次の時代へ。

まごころ込めてつくり上げた牛乳を、ひとりでも多くの人に味わってほしい。
そんな、南九州の酪農家たちの夢と願いが集まって南日本酪農協同株式会社は
生まれました。以来半世紀余りにわたる私たちの歴史は、南九州の酪農家と
ともに歩んできた歴史なのです。

これからも酪農家の目で酪農のあるべき姿を見つめ、さらに長い伝統と
実績のなかで磨きあげられた「先駆・独創」という
企業ポリシーを大切に新商品開発、品質改良、規模の拡大、
新分野開発などに前向きに取り組んでいきたいと考えています。



会社概要

会社名	南日本酪農協同株式会社 (MINAMI NIHON RAKUNO KYODO CO., LTD.)
本社所在地	〒885-0073 宮崎県都城市姫城町 32 街区 3 号
代表者	代表取締役社長 有村 義昭
設立	1960 (昭和 35) 年 7 月 29 日
資本金	4 億 8 千万円
従業員数	501 名〔男子 405 名、女子 96 名〕 (令和 2 年 2 月 29 日現在)
事業内容	牛乳、乳製品等の製造および販売
売上高	341 億円 (令和元年度)
株主	鹿児島県酪農協同組合、宮崎県南部酪農協同組合、 デリー会 (従業員)
主な取引銀行	農林中央金庫、鹿児島銀行、宮崎銀行

役員

代表取締役社長	有村 義昭
専務取締役	今別府弘喜 (生産・管理担当)
常務取締役	坂田 泉 (酪農購買担当)
〃	宮元 広 (経営企画部長)
取締役	山村 正信 (内部監査室長)
〃	瀬戸口祐二 (営業本部長)
〃	宮田 義三 (都城工場長)
〃	鬼塚 香 (市乳部長)
〃	福田 祐作 (製造部長)
〃	小脇 幸男 (非常勤)
〃	池田 利弘 (非常勤)
〃	戸塚 勇 (非常勤)
〃	原田 修一 (非常勤)
〃	有村 洋平 (非常勤)
常勤監査役	酒井 重則
社外監査役	福添 誠 (非常勤)
〃	繁松 秀二 (非常勤)
執行役員	有馬 勇夫 (商品開発部長)
〃	岩元 博幸 (営業企画部長)
〃	大原 国男 (総務部長)
〃	竹之内利文 (経理部長)
〃	飛松 浩 (乳食品部長)

- | | | | |
|-----------------|---|-------------------------------|---|
| 1960
昭和 35 年 | ● 都城市姫城町に宮崎県南部酪農業協同組合の設備を引き継ぎ、南日本酪農協同（株）を設立 | ● 新軽量容器「ポリボトル」を開発し、ポリボトル牛乳を発売 | |
| 1966
昭和 41 年 | ● 鹿児島地区の売上拡大に伴い、始良郡始良町に鹿児島工場を新設（平成 2 年工場再編に伴い、工場閉鎖） | 1991
平成 3 年 | ● 体験牧場、高千穂牧場をオープン
● 本社ビル竣工（4 月） |
| 1968
昭和 43 年 | ● 大消費地に販路を求め、大阪営業所を設立（昭和 49 年支店昇格） | 1994
平成 6 年 | ● ニシラク乳業(株)の経営に参画 |
| 1969
昭和 44 年 | ● 乳製品専門工場として鹿屋市笠之原町に鹿屋工場を新設 | 1995
平成 7 年 | ● 北海道日高乳業モッツァレラチーズを本格生産・発売開始 |
| 1971
昭和 46 年 | ● 製品開発並びに技術情報の拠点として、大阪研究室を大阪市南区高津町に開設
● 醗酵乳に炭酸ガスを封入した画期的な乳性炭酸飲料「スコール」を開発 | 1998
平成 10 年 | ● 都城工場の HACCP システム、厚生大臣承認取得
● 軽量容器ポリボトルの小型容器を開発、乳飲料を発売
● 大阪研究所を都城市に移転 |
| 1972
昭和 47 年 | ● 鹿屋工場にスコール瓶充填ライン設備を設置、スコールを本格的に販売開始
● 東京事務所を港区赤坂に開設（平成 4 年支店昇格） | 1999
平成 11 年 | ● 鹿屋工場の HACCP システム、厚生大臣承認取得 |
| 1976
昭和 51 年 | ● LL 牛乳中心の総合基幹工場として、都城市高木町に都城工場を新設、本格的な LL 工場としては、我国最大となる | 2003
平成 15 年 | ● 本社・都城工場が ISO 14000 1 認証取得 |
| 1977
昭和 52 年 | ● 福岡営業所を開設（平成 4 年支店昇格）本格的な LL 牛乳の販売に着手 | 2012
平成 24 年 | ● 本社・都城工場が、食品安全マネジメントシステム「FSSC 22000」を認証取得
● モンゴル乳製品由来の乳酸菌研究を深化させ LP 432 乳酸菌を用いた醗酵乳・乳酸菌飲料を発売 |
| 1982
昭和 57 年 | ● 都城工場にクワーク及びヨーグルト設備を新設
● 種子島酪連工場を吸収合併（平成 19 年工場再編に伴い、工場閉鎖） | 2014
平成 26 年 | ● 鹿屋工場が、食品安全マネジメントシステム「FSSC 22000」を認証取得 |
| 1985
昭和 60 年 | ● 乳製品乳酸菌飲料（殺菌）「ヨーグルッペ」を開発、発売
● 日本で初めてチューブ入りコンデンスミルクを開発、発売 | 2015
平成 27 年 | ● 日本コカ・コーラ社とライセンス契約を締結し、コカ・コーラ社が自販機にてスコールの販売を開始 |
| 1987
昭和 62 年 | ● 乳製品の安定供給を図るため、日本ネスル社の日高乳業(株)・日高工場を買収
● 屋久島に天然水の充填工場を新設し、「屋久島縄文水」を発売 | 2016
平成 28 年 | ● ポリボトル製品の増産体制強化を図るため、都城工場にポリボトル充填機ラインを追加導入 |
| 1988
昭和 63 年 | ● (有) 都城冷菓を買収（現、デーリィ販売(株)）
● ホテル屋久島を買収（平成 12 年に譲渡） | 2017
平成 29 年 | ● 都城工場に LL ミニラインを更新し、LL 設備の合理化を図る |
| 1990
平成 2 年 | ● リキュール類の免許（酒製造）を取得し、クリームリキュール「ミルキーランド」を発売
● 日高乳業を北海道日高乳業(株)と改称し、缶ラインを増設 | 2018
平成 30 年 | ● 省エネ及び CO2 排出量抑制などの環境対策を推進するため、都城工場で使用する燃料を都市ガスに転換 |
| | | 2019
令和元年 | ● ポリボトル容器の安定供給を目的に、鹿屋工場にポリボトル成型機を増設 |